

平成29年度

留萌の研究活動

研究部長 遠別町立遠別小学校
校長 安田 善見

1. はじめに

留萌管内小中学校長会では、昨年度より研究主題を改め、よりよい学校づくりを実現するため、カリキュラム・マネジメントの推進を通して、校長の役割とリーダーシップの在り方を究明することをねらいとして研究活動を進めている。年に一度開催している管内校長会研究協議会では、提言発表及び研究協議を通して、具体的な取組の交流を行うとともに、よりよい学校経営の在り方について活発な議論を行うことができた。また、道小・道中提言に向けては、プロジェクト委員会を組織して管内校長の実践から提言資料を作成している。管内校長会の組織連携を基本とし、よりよい学校経営の在り方や今後の教育の方向性などについて意欲的に研鑽しているところである。



2. 活動計画

(1) 研究主題・副主題

- 研究主題：「北の大地から世界を見つめ新しい社会の形成に向けて
挑戦する子どもを育む学校経営の推進」
- 研究副主題：学校力を高めるために戦略的に思考するカリキュラム・マネジメントの推進～課題をとらえ、解決に導き、よりよい学校づくりを進める校長の在り方～

(2) 研究推進の重点

- ① 研究主題に基づく3か年継続研究の2年目の研究を推進し、第65回留萌管内小中学校長会教育研究協議会において共通理解を深めるとともに、今後の研究の見通しを確かなものとする。
- ② 平成29年度道小提言並びに平成30年度全連小提言に向け、提言プロジェクト委員会の活動を充実し、研究推進に努める。
- ③ 研究集録『和心一統』第48号を発刊し、研究の成果と校長会の足跡を記録に残す。
- ④ 道小・道中研究部、各市町村研究部及び関係機関との連携の強化に努める。
- ⑤ 留萌管内研究団体連絡協議会の会長・事務局長として、各種研究会の連絡調整に努める。

3. 研究活動

(1) 3か年継続研究計画の推進

3か年継続研究2年目となる今年度は、課題解決への実践事例の収集を中心し、収集された研究内容を分析するとともに、新たな課題設定を設けていくこととする。具体的には、管内すべての小中学校に「カリキュラム・マネジメント全体構造図」を作成してもらい、それに基づいた学校改善・学校創造の取組を蓄積していく。

(2) 第65回留萌管内小中学校長会教育研究協議会の開催

- ① 期日 平成29年 8月 7日 (月)
- ② 会場 小平町文化交流センター
- ③ 内容 道小提言発表, 地区提言発表, 分科会協議

■ 地区提言の概要

- ・「**道徳教育の充実**」 提言者 天塩町立天塩中学校長 藤田 智哉
天塩町・遠別町の各小中学校における道徳の教科化に向けての対応や「考え, 議論する道徳」への授業改善に向けての校長のリーダーシップの発揮についての事例が示された。
- ・「**小中連携・一貫教育の実現**」 提言者 留萌市立潮静小学校長 堀井 理
留萌市における小中連携・一貫教育の実現に向けた取組について, 学校間のビジョンの共有化をどう進めるか, 各校の教職員の参画意識をどう高めていくか等, 課題解決に向けた校長のリーダーシップの発揮についての事例が示された。

■ 分科会協議

- ・午後から二つの分科会に分かれ, 活発な研究協議が行われた。どちらも, 学校改善・学校創造に向けての経営ビジョン及び方策・方針の明確化, 教職員の参画意識の高揚を図る具体的な手だて, 連携をキーワードとした学校間の情報交流など, 校長の戦略的な思考に基づくカリキュラム・マネジメントの推進の大切さを確認することができた。

(3) 平成29年度 北海道小学校長会教育研究宗谷・稚内大会の提言

■ 第7分科会「研究・研修」

- 研究発表 「**学校の教育力を向上させる研究・研修において発揮する校長のリーダーシップ**」 提言者 天塩町立啓徳小学校長 早坂 康

(4) プロジェクト委員会の開催

平成30年度全連小函館大会第7分科会の提言発表に向けてプロジェクト委員会を組織し, 準備を進めている。

(5) 新任校長研修会への参加

管内校長会で実施した「新任校長研修会」では, 研究部から校長会の活動の中核をなす研修・研究活動の重要性や組織体制について説明し, 校長会の連携や校長としてどのように学校経営に当たるかを新任校長とともに考え, 協議した。

(6) 各種研究会への参加, 還流

研究会参加報告は研究集録「和心一統」に掲載して還流を図っている。

- 北海道小学校長会教育研究宗谷・稚内大会 小学校長 12名参加
- 北海道中学校長会教育研究大会石狩・千歳大会 中学校長 5名参加
- 全国連合小学校長会研究協議会佐賀大会 小学校長 2名参加
- 全日本中学校長会研究協議会東京大会 中学校長 2名参加

4. おわりに

3か年研究の2年目となる今年度の研究協議会では, 昨年度提示した研究方法について, その具体を各校長が実践したことで, 研究成果と課題がより明確となった。次年度も校長の実践をもとにした提言発表と研究協議を行ってさらに研究を深めていく。留萌の子どもたちのため, 留萌の教育の一層の充実に向けて実りある研究を推進していきたい。